

令和6年5月19日～5月25日は はしか・風しん“0”キャンペーン週間です

はしか(麻しん)とは

感染力が非常に強く、感染性の強いウイルス感染症です。手洗いやマスクでは予防することができず、予防接種が最も有効な予防法となっています。麻しんを発症すると肺炎や中耳炎を起し、まれに重い脳炎を発症することがあります。

風しんとは

症状のでない不顕性感染から重篤な合併症併発まで幅広く、成人で発症した場合は小児より重症化することがあります。また妊娠20週までの妊婦が風しんウイルスに感染すると、先天性風しん症候群の子どもが生まれてくる可能性が高くなります。



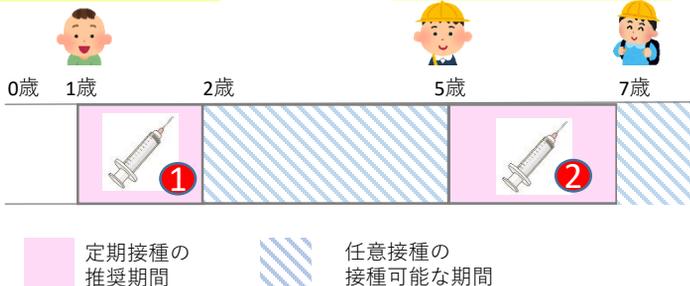
麻しん(はしか)・風しんワクチン (MRワクチン)



定期接種

【第1期】
接種期間：1歳～2歳未満

【第2期】
接種期間：5歳～7歳未満
(小学校就学前の1年間)



麻しん・風しんの予防接種は2回受けることで1回の接種では免疫が付かなかった方の多くに免疫をつけることができるとされており、1歳児と小学校入学前の1年間の2回接種制度が取られています。

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い接種を延期し、規定の時期以外に接種を行った場合についても定期接種として取り扱われる場合があるため、お住まいの市町村にご相談ください。

沖縄県風しん抗体検査補助事業

沖縄県では妊娠を希望する女性とその配偶者及び同居人に対して「風しん抗体検査」の費用を一部助成する事業を実施しています。妊娠中はMRワクチンワクチンの接種ができないため、事前に抗体を持っているか確認し、必要に応じてワクチン接種をすることが大切です。



麻しんに関しては世界的に感染者が増えており、昨年10月までのヨーロッパ地域における症例報告数は一昨年の30倍に急増しています。また日本からの旅行者が多い東南アジア地域についても世界的に症例報告が多い地域の一つです。

定期予防接種の対象となるお子様は予防接種を受けて下さい。また妊娠を希望する女性やその家族はもちろん、海外渡航を予定されている方や海外からの旅行者との接触がある職業の方も予防接種を2回受けたか明らかではない場合は抗体検査を検討していただきたいと思います。

風しんの追加的対策

国の事業として、過去に公的な風しんの予防接種が行われていない年代である昭和37年4月2日～昭和53年4月1日生まれの男性を対象に風しんの抗体検査とワクチン接種を補助する事業が実施されています。市区町村から送られたクーポン券を使用できるのは2024年度までとなっています。周りに妊娠予定のいる方はぜひ検査を受けて下さい。